

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日	5月 ~12日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	22	17	14	23	22	17	21	18	9	0 (8)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	14	10	14	16	23	19	13	20	17	2 (7)	17
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	0	4	4	2	1	0	1	1	4	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	3	3	4	0	2	3	5	3	2	0	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	6	1	4	4	7	3	6	3	2	1	4
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	4	4	1	0	2
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	0	3	3	3	2	2	3	2	4	0	1

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第19週(5月6日~5月12日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2					2		
三類	0	発生なし	0							
四類	3	A型肝炎	1					1		
		日本紅斑熱	2			1			1	
五類全数	15	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1				1	1	
		急性脳炎	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2			1		1		
		梅毒	5		1			4		
		百日咳	2		1			1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第19週 5/6～5/12)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 梅毒

4件の報告があり、今年の累計は30件(男性20件、女性10件)となりました。

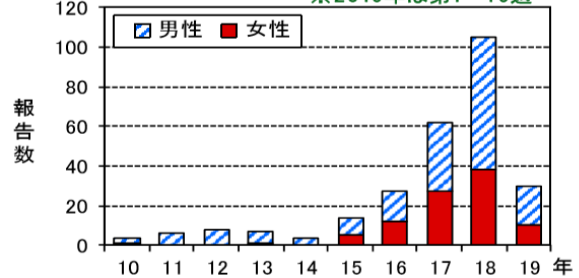
梅毒は、性的な接触により感染し、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は5件となりました。

梅毒の年間報告数の推移

※2019年は第1～19週



第18週は、大型連休による休診のため、定点医療機関からの患者報告数が少なくなっている可能性があり、正確な比較ができないため、第19週は「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号を表示していません。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	16	0.44	0.52			小児科	流行性耳下腺炎	6	0.26	0.69		
	咽頭結膜熱	10	0.43	0.63			小児科	RSウイルス感染症	5	0.22	0.14		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.87	2.27			眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.08		
	感染性胃腸炎	103	4.48	7.38			眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.47		
	水痘	4	0.17	0.48			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	6	0.26	0.77			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	8	0.35	0.18			基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14		
	突発性発しん	7	0.30	0.45			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.20			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.43	1.06		

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (緑) 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ (白) ↙ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	64	女性(60歳代)、男性(70歳代)
4	A型肝炎	1	5	男性(60歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	3	男性(20歳代)・B型
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	女性(70歳代)
5	急性脳炎	1	11	女性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	5	男性(20歳代)・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	17	男性(70歳代)
5	梅毒	4	30	女性(10歳代)、男性(30歳代)、女性(40歳代)、男性(50歳代)
5	百日咳	1	24	女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.3) 咽頭炎 頭痛 関節痛	29 女	2019/03/26	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.0) 関節痛 筋肉痛 咽頭炎 頭痛	74 女	2019/03/31	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.2) 咽頭炎 鼻炎	1 男	2019/04/02	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.3) 上気道炎 頭痛 鼻炎 関節痛 筋肉痛	59 男	2019/04/07	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.5) 咽頭炎	5 男	2019/03/27	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T1型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 咽頭炎 ふらつき 鼻炎	1 男	2019/02/28	咽頭拭い液 糞便	ヒコナウイルスOC43 アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎	0 女	2019/03/19	咽頭拭い液	ヒコナウイルスHKU1
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 喉頭炎	0 女	2019/03/25	鼻汁	ヒコナウイルスOC43
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 発疹 肺炎	0 女	2019/03/29	咽頭拭い液	ヒメニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載